2018-2019年度
国際ロータリーのテーマ
インスピレーションになろう

ＲＩ会長
バリー・ラシン

第2720地区ガバナー　高山泰四郎
第2720地区ガバナーエレクト　瀧　満
大分第３グループガバナー補佐　平野教康

第2720地区 大分第３グループ
別府東ロータリークラブ
例会日：毎週木曜日　12時30分
例会場：杉乃井ホテル
ホテルサンバリーアネックス
事務所：別府市西野口１番１号
〒874-0931（青山通りビル３階）
ＴＥＬ　(0977) ２３－９０００
ＦＡＸ　(0977) ２３－９０１９
Ｅ－mail：info@beppu4rc.jp
http://www.beppuhigashi-rc.jp/
会長　一力　秀次　　幹事　沼田　守生

VOL.40－No.35　2019年４月11日

第１９１０回例会

公共イメージ委員長　瑞木　一博

“職業奉仕を活発に行い、
会員相互の結びつきを充実させる”

別府東ＲＣ　会長テーマ

－母子の健康月間－

■ 点　　鐘　　１２時３０分

■ ロータリーソング　君が代・我等の生業

言行はこれに照らしてから

1．真実か　どうか
2．みんなに公平か
3．好意と友情を深めるか
4．みんなのためになるかどうか

■ ビジター

髙橋喜巳、岩瀬裕子、木村大成、畑　洋一、真砂鉄治（別府北）、大島由美子（別府中央）

■ 出席報告　　委員長　後藤　誠一

本日	会員総数	45名	ゲスト	１名
	出席数	25名	ビジター	６名
	欠席数	14名	出席率	63.16%

前々回の出席率 54.05%　　修正出席率 70.27%

100% 通算 1578回

出席規定免除(b)：岩瀬、樽谷、黒岩、幸、檀上、箕作、杉本

■ メイクアップ

事後　（第1908回例会）
笠木、髙橋（地区協議会）
西林（別府ＰＣキャラバン）
後藤、但馬（別府中央）

■ 欠　　席

安部、後藤、笠木、川本、児玉、二宮(秀)、二宮(滋)、岡本、髙橋、但馬、詫磨、立川、梅津、山下(唱)

1909回例会の訂正
森会員は合同花見例会欠席でした
出席数　18名　欠席数　19名　出席率　48.65%

■ ゲスト

田邊健太郎（たなべけんたろう）氏　（ラクテンチ　元顧問）

■ 会長の時間　　会長　一力　秀次

４月は、母子健康月間です。ＲＩ会長のメッセージより、抜粋しました。

「２分間にひとり、世界のどこかで妊娠や出産に関連して女性が命を落としています。しかし、これは予防できることなのです。誕生後６週間で母親を失う新生児は、母親がいる新生児よりも死亡率がとても高いといわれてます。世界中を旅する中で、こういった事実がただの悲惨な統計上の数字ではなく、現実として直面している人々とも出会いました。また、母子を救うことに全力を注いでいる方々とも出会いました。こういった方々のおかげで希望を持つことができます。そして、こういった方々の多くがロータリアンなのを誇りに思います。

ラトビアのイェカブピルスにある近代的な病院で、医師や看護師は患者に寄り添う、仕事熱心な熟練した医療従事者でした。しかし必死の努力にもかかわらず、彼らにはどうにもならない原因のため、母子の死亡率は依然として高いままでした。なくてはならない診断設備や、保育器のような機器すらないためです。

そこで、ロータリーの出番です。世界中から21クラブがグローバル補助金プロジェクトに参加し、この病院が必要としていた設備を提供しました。」

日本では、あって当たりまえの機械がないだけで死んでいく命があることに気付かされました。

会長の時間でした。

■ 幹事報告　　幹事　沼田　守生

１．本日は、職業奉仕委員会の担当により「職場例会」を開催致します。

２．モンゴル米山学友会より「世界米山大会」開催のお知らせ

日　時　2019年７月27日㈯～28日㈰
場　所　The Corporate Hotel and Convention Centre
（モンゴル国ウランバートル市）
登録料　ロータリアン 15,000円
米山学友・奨学生・ご家族 7,000円
（小学生以下無料）
航空機チケット代、宿泊費等
登録方法　下記リンクより
https://goo.gl/forms/XearwKwnR1SIBRqZ2
申込締切　４月30日㈫
（空券手配の関係で厳守ください）

＊本日回覧しています。航空機チケット代、宿泊費等の詳細・登録申込みは、幹事または事務局までお申し出ください。

３．第10回定例理事・役員会報告
（平成31年４月２日㈫　17：30～
於ホテル＆リゾーツ別府湾　13名出席）

審議事項

１号議案　次年度より「理事・役員・委員長・副委員長・委員構成」修正・変更の件

２号議案　「職場例会」開催の件
日　時　2019年４月11日㈭12：30～
11：50下駅集合
12：00、12：20ケーブルカー乗車
場　所　ラクテンチ
卓　話　「ラクテンチについて」　田邊健太郎氏

３号議案　「米山奨学生歓送迎会」開催の件
日　時　2019年４月18日㈭18：30～
内　容　「40周年記念式典の為のフォーラム」
場　所　ホテルサンバリーアネックス
会　費　3,000円

４号議案　40周年実行委員会議事内容の承認
①４月18日フォーラム：式典概要説明
②４月25日フォーラム：決定内容通知
最終確認

報告事項

○次年度地区補助金申請の件
「健常者と障害者との交流」プロジェクト総事業費50万円受給計画書を３月末日提出完了

○「地区ガバナー杯争奪野球大会」開催の件
開催日：６月15日㈯於野口原グランド
＊予備日なし
懇親会：ホテルサンバリーアネックス
＊開催日の変更あり

○例会予定の確認

４月＜母子の健康月間＞
４月２日「豊後大野・日出・別府東3ＲＣ合同花見例会」＊4日変更　日出ＲＣホスト
11日「職場例会」於ラクテンチ
18日「40周年式典・記念事業へ向けてのフォーラム」「米山奨学生歓送迎会」
12：30～於ホテルサンバリーアネックス
25日「40周年式典・記念事業へ向けてのフォーラム並びに決起大会」
12：30～　於杉乃井ホテル

５月＜青少年奉仕月間＞
５月２日「定款第８条第１節休会」
９日→11日㈯「創立40周年記念式典・記念事業」＊リハーサル予定：後日連絡
16日「新会員卓話」　川本　誠会員
23日「創立記念日例会（５月24日)」
黒岩　英会員
30日「清掃活動：港湾清掃プロジェクト」
（予定）

６月＜ロータリー親睦活動月間＞
６月６日「ゲスト卓話」別府青年会議所
第44代理事長　児玉裕氏
13日「第4回クラブ協議会」
20日「　　」
27日「会長・幹事慰労会」

４．４月２日㈫16：30～ホテル＆リゾーツ別府湾に於いて「第10回40周年実行委員会」を開催致しました。
出席者：一力秀次、竹内孝夫、桝田　浩、長野勝行、石田啓三、瑞木一博、久保田高史、山下布美代、尾方義顕、羽田野徹、中村忠孝、杉本邦弘、加藤兼司、沼田守生各会員

５．４月４日㈭18：30～ドラゴン厨房に於いて「40周年実行委員会（記念誌・出納、記念式典・祝賀会）合同部会」が開催されました。
出席者：一力秀次会長、竹内孝夫実行委員長、

桝田　浩副実行委員長、長野勝行副実行委員長、瑞木一博記念誌・出納部会長、羽田野徹記念誌・出納副部会長、工藤陽一会員、久保田高史記念式典・祝賀会部会長、中村忠孝副部会長、赤嶺リサ会員、沼田守生幹事

6．４月９日㈫12:30～トキハ別府店7Ｆにて開催の別府中央RC例会で「40周年記念式典キャラバン」を実施致しました。
参加者：久保田高史式典部会長、中村忠孝式典副部会長、尾方義顕キャラバン隊長、塩見安史会員、赤嶺リサ会員、沼田守生幹事

7．４月10日㈬13：30～ホテル白菊に於いて「別府市内4ＲＣ会長･幹事会」が開催され一力秀次会長、沼田守生幹事が出席致しました。

8．例会変更のお知らせ
○大分1985ＲＣ　４月22日㈪の例会は、クラブ内研修会　同日12：30～大分コンパルホールに場所変更
○大分中央ＲＣ　４月23日㈫の例会は、花見例会の為、同日18:00～ホテル日航大分オアシスタワーに時間変更
○竹　　田ＲＣ　４月23日㈫の例会は、豊肥線完全復旧コンサート（関島秀樹）開催の為、４月21日㈰13：00～竹田市キリシタンホールに開催日時・場所変更
○大分城西ＲＣ　４月24日㈬の例会は、創立29周年記念例会の為、同日18：30～ホテル日航大分オアシスタワーに時間変更
○別　　府ＲＣ　４月26日㈮の例会は、定款第８条第１節により休会
○大 分 南ＲＣ　４月26日㈮の例会は、夜の親睦例会の為　同日18：30～（場所未定）に変更
○別府中央ＲＣ　４月30日㈫の例会は、定款第８条第１節により休会
○中津中央ＲＣ　４月30日㈫の例会は、定款第８条第１節により休会

9．次週（４月18日）例会予定
「40周年式典フォーラム・米山奨学生歓送迎会」
18：30～　於ホテルサンバリーアネックス

10．本日の回覧
①「40周年式典フォーラム・米山奨学生歓送迎会」出・欠席（４月18日）
②「40周年式典最終フォーラム」出・欠席（４月25日）
③「別府市近隣７ＲＣ合同親睦ゴルフ大会」参加申し込み（５月19日）
④「40周年式典へご夫人様方の当日お手伝い」出・欠席

11．本日の配布
①ガバナー月信Vol. 10
②ロータリーの友４月号
③週報　No. 1909
④2019－2020年度「理事・役員・委員長・副委員長・委員名簿」

■ ニコボックス　　委員長　加藤　兼司
○**加藤兼司委員長**　４月開業の企業の代表者に恒例により、ニコボックスをお願いします。**後藤、岩瀬、神田、中塚、二宮秀行、沼田、尾方、杉本、髙橋、詫磨、立川、幸、各会員**３口づつ
○**西　貴之会員**　本日はご来園頂きありがとうございます。10口
○**尾方義顕会員**　第105回別府八湯温泉まつり、1週間という長丁場でしたが、神輿渡御何事もなく無事終わる事ができました。皆様のご協力に感謝です。３口
○**太田直希会員**　おかげ様で、４月１日に大分市寿町で保育園を開園しました。桝田さん、工藤さん、西さんをはじめロータリーの皆様のご協力を賜り運営することができています。ロータリーの友情に感謝しています。
開園に際して、皆様より過分なるご厚志を賜りこの場を借りて御礼申し上げます。10口

例会風景

職場例会『ラクテンチ』

とき：2019年４月11日（木）　　ところ：ラクテンチ

ラクテンチ　元顧問　田邊健太郎氏

一力秀次会長と田邊健太郎氏

ラクテンチの前身は金山でした。

温泉の出るところには金の鉱脈があると、明治時代ラクテンチから明礬までの30数万坪の採掘権を買っていました。最初にケーブルカーに向かって左側を掘ったが、ものにならず、右側を掘り有望な金脈を掘りあてました。

掘り進むにつれ鉱夫が火傷するほどの噴気につきあたり、乙原川の水を導き入れたり、とうみで送風を送ったりしましたがうまい手立てがなく止むなく中止をしました。

木村社長はこの金山を諦め切れず、台湾のキール鉱山にいた鉱山技師山崎権市を別府に派遣し、朝見川の土手に新しい坑口をあけ新鉱脈を発見し、いよいよ操業という時に関東大震災に見舞われ、木村鉱業所の本社が全滅し資金が途絶えてしまったことと、鉱山局や別府町から、温泉に悪影響を及ぼすという理由で採掘中止の申し入れを受けていた為山崎氏は無念の涙をのみ、有望視された乙原金山は20年の歴史に幕を閉じました。

明治36年から大正12年の間に金134kg、銀257kgを産出したそうです。現在でもこの優秀な金山はラクテンチから観海寺までの10万坪の地中に眠っています。

金山を諦めた、山崎権市でしたが、この乙原台地が別府の床の間の位置にあると思っており、どうしても諦めきれませんでした。何か別府発展に役立つ事業がしたいと思い、何度も上京している時に神戸の摩耶ケーブルが開通したの報道で知り、それを見て乙原台地にケーブルカーをかけ、上を遊園地にする計画を考えました。当時山に電車を登らせる馬鹿がいると陰口をたたかれたそうです。

大正15年２月ケーブルカーの認可申請を出し、昭和３年３月工事施行認可がありケーブルカーの工事に着工したと同時に流川12丁目からケーブルカー下駅まで道がなく、朝見川の護岸工事をし橋を２ヶ所架け、現在の道幅の海岸線から直線の道路を作りました。

ケーブルカーは建設費15万円、工期600日で昭和４年９月試運転となり、招待された知名氏から別府に素晴らしい新名所が出来たと当時の別府新報に掲載されました。

亀の井バスに乗りますと木村橋というバス停があります。その橋には当時の社長の名前がついています。

朝見川に架かっている橋が木村橋、乙原川に架かっている橋が木村小橋といいます。現地を通ることがありましたら、ご確認してみて下さい。又当時春の桜の時期のお客様に、今年花見をして頂きたいとの思いから大分仏崎から成木を移植し、その年の花見に間に合わせたそうです。現存園内に残っている古木は当時移植された桜です。

桜も新旧交代が必要で、４年から５年生の桜を移植し世代交代をはかっています。

その後ケーブルカー北西にプール形式の大風呂を作り二階を休憩室にしたりし、当時別府には少女歌劇の鶴見園があり、これに対抗して大衆演劇を招致しました。

資金面では大変苦労したようで、別府に山田栄三さんという資産家が応援をしてくれ、社長山田栄三、支配人山崎権一というかたちで、別府鋼索鉄道は運営されました。

昭和12年日中戦争あたりから軍部がうるさくなり、開園当時高野山別院を誘致していましたので、その前に乃木神社を造りケーブルカーに乗るお客さんは、遊園地に遊びに来ているんではなく、乃木神社にお参りに来ているというムード作りをして営業を続けました。昭和16年第二次世界大戦に突入し遊園

地は小倉造兵所の保養所として接収されました。

昭和19年戦争末期、鉄機等統制令を受けレール、モーターを撤去しなければならなくなり、別府鋼索鉄道は15年でピリオドを打つことになりました。

戦後昭和23年、大分県出身者で東京で成功した人達が郷土の為にということで、別府国際観光株式会社を作り大蔵省に接収されていたケーブル遊園地の払い下げを受けモーターの設置、レールの敷設と大変困難をきわめたようです。

当時４月に北浜でグランドフェアがあり、それに間に合わせる計画で工事を実行しましたが間に合いませんでした。

そうこうしていると、タイからラクテンチに象がプレゼントされるというビッグニュースが飛び込んできました。象がきたのはラクテンチ開園から４ヶ月後の９月10日の朝、別府市長他2､000人の市民が見守る中、関西汽船「第一寿丸」から子象がおろされました。

なかよし公園で歓迎市民大会が開催され一般公募で「太郎」と命名されました。命名者の南小学校５年達見絜君が最初に象の背中に乗り、流川をパレードしてラクテンチに入りました。

初代が太郎、二代目が花子で二頭ともインド象で性格もおとなしく、背中にお客様を乗せ、愛嬌をふりまいていました。お客様から小さい時、象の背中に乗った写真があるとよく聞きます。ラクテンチは象がプレゼントされた後は絵本に出てくる、ライオン、トラ、キリン、カバ、チンパンジー等購入し誘客をはかりました。

昭和25年ラクテンチの看板スターであるアヒルの競争が産声を上げました。最初は競馬や競輪と一緒で配当金を払っていたそうです。今でもゴールで口ばし判定と言っていますように、ゴールでのクレームが大変だったようです。試行錯誤をしながら景品を差し上げる現在のスタイルになったと聞いています。今は風俗営業の許可を取り営業しています。

アヒル競争のアヒルは競走馬と同じでオープン当時のアヒルの血が今も脈々と引き継がれています。動物も人間といっしょで血が濃くなると奇形が生まれる可能性が高くなりますので、何年かおきにメス、オスと入れ替え１～２年おきに孵化され調教しています。

アヒルの首輪の色は適当にアヒルをつかまえでつけているのではなく、赤をつけるアヒルは赤というように、アヒル個体でつける色が決まっています。

人間も人それぞれ顔が違うように、アヒルも１羽１羽顔が違うそうです。アヒル競争を修業する人はアヒルの顔を覚えるのが最初だそうです。

ラクテンチ動物園は動物の繁殖の環境にあっているのか、よく子供が生まれました。昭和52年日本で初めてのゴリラの赤ちゃんが生まれ、園内を散歩しお客様に抱かれたり、記念写真を撮ったり大変な人気者でした。

又平成６年、ポール･ポーラという白熊の親から、２頭の赤ちゃんが生まれました。その内の一頭が映画旭山動物園に出ているルルです。別府ブルーバードで上映の折は、ラクテンチ生まれで間違いないかと確認の電話を頂きました。もう一頭が円山動物園で飼育されていまして、ララで.､８頭の子供を出産した、白熊では日本一子沢山の白熊です。

こうしてラクテンチは新しい動物を購入したり、赤ちゃん誕生ということで、観客増員を計って来ましたが、ワシントン条約と規則が厳しくなり動物の移動は動物園で繁殖した個体のみというようになり、遊園地は機械化遊園地へと方向転換をせざるをえない状況になりました。

それまでは飛行塔、コーヒーカップ、空中観覧車等旧式の遊具はありましたが、昭和47年ジェットコースターを到津遊園地に続いて九州で二番目に導入し、大変好評を博しました。特に修学旅行生には大人気で夜討ち朝駆けと来園され修学旅行生だけで年間17万人が来園されました。

「ラクテンチについて」田邊健太郎氏

昭和49年会社創設時の役員が全員退任し、星野靖之助さんが社長に就任しました。会社創設時の役員会でラクテンチと志高ユートピアを何かの乗り物でつなぐという決議がされていたということで、ラクテンチと志高ユートピアをつなぐという壮大な構想がもちあがりました。折も折り別府市より高速道路の取り付け道路で、社有地扇山の土地の買収話が持ち上がりました。土地を売却することで建設資金の半分が工面出来る見通しがたったため、計画を実行するのは今しかないと判断し実行に移しました。昭和57年ユートピアリフト1,000m、昭和59年ラクテンチロープウェイ2,000m、既存のラクテンチリフト700m、ケーブルカー300m、合わせて4,000mの空の散歩が楽しめる日本で初の壮大な施設がオープンしました。ケーブルカー、リフト、ロープウェイがあるのはラクテンチだけです。当初ラクテンチロープウェイの利用者を年間10万人と目標にしましたが、オープン初年度7.5万人と目標を達成できませんでした。

ラクテンチから別府市内を望む

当時高速道路を推進していた市長が落選し、土地買収の話も立ち消え資金繰りが悪化しました。

色々引き受け先を探し、県外の会社と話が煮詰まりかけた時、役員会で別府国際観光は大分県出身の人が郷土の為といって作った会社なので、県外の企業ではどうか会社創設時の趣旨に反するのではないかとなり、最終的に新光石油グループに引き受けていただくことになりました。

平成４年３月、多額の費用をかけラクテンチリニューアル工事と夜間営業の為の夜間照明を大々的にして、いざ勝負という時、オープンから３ヶ月後の平成４年６月にバブルがはじけ、次第に資金繰りが悪化し、平成15年11月岡本製作所と営業譲渡で話がまとまりました。

岡本製作所は引き受けて１ヶ月間営業をし、平成15年12月１日から平成16年３月19日まで閉園しリニューアル工事を行いました。リニューアルの目玉施設としてフラワー観覧車、吊橋、パノラマ温泉と新しい施設を作りオープンしました。当初はオープン景気で、沢山のお客様に来ていただきました。桜の時期に間に合せたいということで３月20日にオープンしました。目玉施設は作りましが昔のままの状態で残っている施設と、大型動物を出した為、檻が空いたままという状態で営業した為、お客様の足が徐々に徐々に引いていきました。このままでは岡本製作所も閉園も止むをえないと判断しましたので、私はラクテンチが最後になるかもしれないと思い、お客様の気持ちを聞いてみたいと思い園内２ヶ所に思い出ノートを設置しました。

そのノートに書かれた文章には、是非残して欲しい、自分の心の故郷だという気持ちが切実に綴られていました。そのノートを岡本製作所の会長、社長に送りお客様の気持ちを伝えました。と同時に岡本製作所にもメールや投書が沢山来ていてラクテンチがいかに県民に愛されているのかがわかったそうです。

そういう県民の方や、ラクテンチのファンの方の気持ちが会長、社長の心を動かしもう一度お客様の気持ちに応えたいと、再度リニューアル工事を決断していただきました。今回のリニューアルは前回とはガラリと替え、ゆっくり遊べる公園というコンセプトの元に遊具を撤去し3,000㎡ の芝生広場、小川のせせらぎ、マゼランペンギン等いやしを取り入れました。工事中桜の時期にオープンという話がもちあがりましたが、前回の失敗を繰り返してはいけないと、英断をして頂き工事完了まで閉園をのばし、夏休み前にオープンしました。

環境も園全体のムードも非常に良くなったと好評いただきました。以後順調に推移しています。

平成30年６月西石油グループがラクテンチの株式を取得されました。別府国際観光株式会社創設時の役員は地元資本となったことに安堵し、喜んでいることと思います。

元社員として感謝しています。

ラクテンチが100年、200年続く企業でありますよう、お祈り申し上げます。